

南原小学校だより



平成27年2月6日（金）

学校評価アンケートのご協力 ありがとうございます

自由記述いただいた内容について NO. 3

校長 むこう 向 だ 田 あきら 聡

3年生以上のアルペンスキー教室が昨日をもって終了しました。子ども達の上達は早いものですね。昨年、おそろおそろ転びながら滑っていてリフトに乗るのも一大決心だった子が、今年はもうスイスイ滑り、余裕の笑顔で楽しんでいました。

さて、今回もお寄せいただいた自由記述についてです。学年学級経営は、その学年によって課題も様々です。おほめの言葉には油断することなく、また厳しいご意見には深い反省とともに真摯に受け止め、今後に向けて頑張って参りたいと存じます。

5 学年学級経営について

- ・ 本年度は子どものやる気を十分に引き出していただき、大きな成長が見られました。これも担任の先生が適切なご指導、対応をしていただいたからと感じており、昨年度末よりは兄がいた頃の何事にも一生懸命だった頃の良い雰囲気を受けています。来年は最高学年なのでさらにレベルアップすることを願います。
- ・ 先生方があたたかく、かつ厳しくするべきところは厳しく接してくださっていると感じ、感謝しております。これからも子ども達の良さを伸ばしていただけたらありがたいです。
- ・ 今後とも子どもが目標を持って学習やスポーツに取り組めるようご指導願いたいと思います。
- ・ 子どもの様子を見ていると先生方の対応の温かさが見えてきてとてもありがたいことだと思います。先生方に任せっきりにならないよう親として子どもを見守らなければならないと思います。今後とも今まで同様子どもに厳しく温かく接していただければありがたいです。
- ・ 意欲的に学習やスポーツに取り組めるためには、子ども達と先生方の信頼関係が大切なのだと感じた1年でした。
- ・ 先生（大人）にとっては取るに足らない事でも子どもにとってそうでない事もあります。子どもに対してそういう対応ってどうなんだろうと思う点がありました。先生に一度不信感を持ってしまうとそれを元に戻すのは難しいのではないのでしょうか。長女の場合は担任の先生が話を聞いてくださるようですし、親の私が電話や連絡帳で相談したことに対して納得いくまで話してくださるのでありがたく思っています。
- ・ 特別支援学級なので、いろいろな情報がほしい。他校では米沢養護学校に見学に行ったり、支援施設や団体の情報がもらえたりして今後の進路選択に役立つ、または知っているだけでも安心できるので、教育委員会から何らかの情報は無いのかと思う。



- ・ 親御さんの一部から、荒れている学級があると何ヶ月前に聞いたことがあります。子どもに訊ねてみましたが、全く子どもはそう感じておらず、他からも聞きません。(私も交流が少ないからだと思いますが・・・) 先生方の考え方もあるので一概に提案できませんが、問題があるとしたらアンケートなどでそれとなく家庭での捉え方や何か問題提起されていないか対策をとるのはどうでしょうか。親から親へうわさが広がって大きくなってから学校が動く先生方は大変だろうなと思います。(会社では放っておいたほうが大きくならないので何とも言えません。)。先生方も一生懸命に指導にあたってくださっていますが、とてもお気の毒でなりません。
- ・ 毎日、大変お世話になっております。子どもが毎日「休みたくない。」と言って楽しく登校する姿を見ると、充実した学校生活を送っているものと感じています。色々と心配なこともありましたが、学年保護者会も早く開いてくださり、学校内でのことを包み隠さず知らせていただいたことは大変良かったと思います。校長先生始め、教頭先生、担任の先生の温かな気持ちが伝わります。家庭でのかかわりも重要だと思いますので、学校と家庭が近い存在であることを今後も願います。
- ・ 家庭やお子さんに事情や問題があるからと言って授業中やクラスのお友達に何かしていいわけではないと思います。家庭と学校が連絡をし、子ども達にしているいいことと悪いことを教えるべきだと思います。とにかく落ち着いて集中して授業を受け入れるようにしていただきたい。来年、クラス替えということで心配。安全に安心して学校生活が楽しく過ごせるようにしていただきたい。
- ・ もめ事がなく、普通に授業が受けられるようにしてほしい。子どもの口から学校であった楽しい出来事をたくさん聞きたい。(今は悲しいことが多いので・・・)
- ・ クラスの様子、子どもに聞くとまだまだ平常でないように思います。授業も集中できないと言っています。学校でもいろいろ対策をとっているようですが、何とかできないものかと考えてしまいます。来年はクラス替えもありますが、この様な状態が続けばとても不安です。

◇ 今年度のスローガンは『学習も運動も生活も やる気満々 チーム南原小』です。子ども達とともに一丸となって取り組んで参りました。子ども達をしっかりと成長させようとする時、ほめて伸ばすことに努めながらも厳しさは欠かせません。ふざけたり、怠けて楽をしようとしたりする弱い心は誰もが持ち、戒め、叱咤激励しながら導いていかなければならないからです。その厳しさを受け入れ、自分の成長のためと懸命に努力するようになった子どもが増えています。そうした姿が見えたご家庭からはおほめとねぎらいのお言葉をいただいていると思います。

しかし、時に先生の指導を受け入れることができず、怠けたりあきらめたり、反抗までしてしまい周りに迷惑をかけてしまう子どももいます。また、子ども達同士のトラブルが授業に影響を及ぼすこともあります。その都度該当の保護者の方々に報告しながら解決に向けて努力しています。一つ屋根の下で生活する時、それぞれが感情を持つ生身の人間ですから、問題ゼロは至難の業です。しかし、決してあきらめず安全・安心を第一に考え、トラブルというピンチこそ導くチャンス、そして子ども達をしっかりと成長させようと日夜頑張っています。どうか、ご理解とご協力をお願いします。

◇ 子どもに嫌な思いをさせた様子については謝るしかありません。次から次へと子ども達に様々な言動がありますが、しっかり向き合えずこう対応すればよかったと反省する日もあります。一人一人大切に努めますので、どうか「あの先生は・・・」と決めつけずにお付き合いください。

◇ 特別支援学級の情報提供に関して、そのように感じさせてしまったことは申し訳ございません。学校も一人一人の将来まで懸命に考え、情報収集に努めますので、不安なことがありましたら、すぐにご連絡ください。

